タカラジェンヌOG としての生き方 vol.7

Women's Well-Being Style
その主役は
退団後も輝き続ける
宝塚歌劇団卒業生
通称タカラジェンヌ OG たち

宝塚現役時代は
男役として活躍した暁郷 さん

スポット浴びる華やかな舞台を降りた彼女たちが次にクリエイトするのは
さらに明るい希望の光に輝く第二のステージ
そのエネルギーの源となるのは「宝塚への愛あればこそ」
このシリーズでは、そんな彼女たちの
薔薇香るウェルビーイングな生き方をお伝えしています

撮影協力：ウエディングサロンイノウエ元町本店

何歳になっても身体が不自由になっても「美しくいたい」気持ちに応え、笑顔に導く

暁郷（あかつき ごう）

メイクアップ・アーティスト

Profile

元宝塚歌劇団男役。退団後、ミュージカルや舞台、ドラマなど数多く出演。2014 年スーパーモデルジャパンコンテスト出場、ファイナリスト。モデル業も行う。美しさを追求すべくメイクスクールへ通い、大手外資系化粧品会社へ入社。経験を積み重ね、フリーランス・メイクアップ・アーティストとして活動。コンサートや舞台などのメイクアップに携わる。

公式 Instagran ◆
https://www.instagram.com/go.akatsuki.akane

24時間没頭できるものとして演劇の世界へ

ヘルスプラスをご愛読の皆様、このページに目を止めていただきありがとうございます。元宝塚観劇団団員 暁郷と申します。

私は、北海道出身の道産子で、14歳で宝塚音楽学校に合格しました。遠い北国から関西へ夢と希望を持って飛行機に乗った事を今も懐かしく思いだします。元々、幼少期から演劇を学び、児童劇団に所属しており、父から、24時間没頭できるような事を仕事にしなさいと幼い頃から言われて育ちました。それは演劇の舞台しかない！

2024年12月の「王妃マリー・アントワネットの愛した音楽の薔薇クリスマス」（ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド）ではメイクアップ・アーティストとして参画し、出演者を支えた。（両写真とも暁さんは左端）

悩み続けた宝塚時代退団を決意し、模索のスタート

宝塚音楽学校の合格に喜びながらも、そこからは自分自身との戦いがスタートしました。はじめは成績も普通でした。とにかく努力すればの一心で、歌、ダンス、演劇、日舞と徐々に成績が上がり、劇団に所属してからは成績優秀と言われるようになりました。

けれど安堵する暇もなく、また次の悩みにぶつかりました。私に与えられる役の殆どが年配の役、新人公演でも実年齢より30歳以上も上の役を演じる事が増えていったのです。その頃から宝塚以外の舞台に興味が出始め、退団を決意。そして東京へ上京し、芸能事務所に所属。さまざまなオーディションを受け、ミュージカルやドラマ、舞台と出演させていただきました。

そんな中、役者業だけでは生活が不安定だと痛感し、色々な模索を始めました。中でも美容の世界に惹かれるようになり、学びをスタートしました。

美容の世界へシフト急に始まった母の介護生活

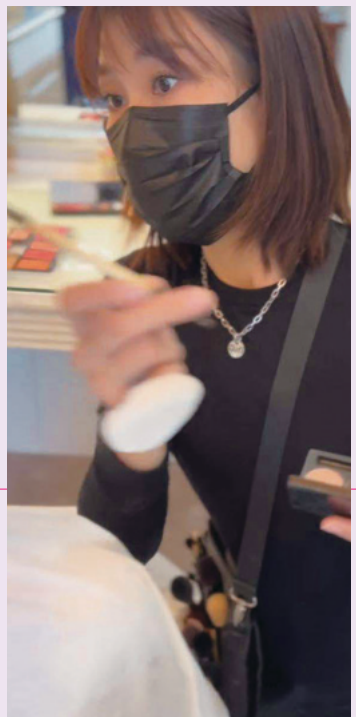
20代後半になった頃、役者以外の道の模索も具体化し始めました。スーパーモデル発掘オーディションにチャレンジし、ファイナリストになるものの、年齢的にも違う道を進もうと決意。美容の世界へシフトしました。

化粧品会社に入社し、今度は美容の世界での下積みが始まります。さまざまなお客様へメイクをさせていただきました。三万人以上の方をメイクさせていただきながら、沢山の事を学びました。

そんな時に母親が倒れ、寝たきりに。介護がいかなるものかを深く知らないまま、要介護5、身体障害者一級の母を助けるべく色々な試練がありました。在宅介護と仕事との両立は過酷なもので、そして今も介護をしております。

たとえ寝たきりでも美しく——母から学んだ大いなる真実

介護生活をとおして大きな学びがありました。それは、たとえ寝たきりになっても美しくいる、ということ。私が母に顔のマッサージやスキンケアを施術すると、母は明るい表情になり、自然と笑顔が増えました。そんな日々の中で、母から教えてもらう事が沢山ありました。

美しくいることとは？ その根元は自分を大切に扱う。自分自身を受け入れて育みながら楽しむことだと思います。何歳になっても、身体が不自由になっても、美しくいたい！ その為のお手伝いができるメイクアップ・アーティスト。それが今の私です。

沢山の方と出会いながら、笑顔をつくるお手伝いができる今を、とても幸せに感じています。